

主な事業（公共工事）

NO	農政部	ため池緊急保全対策	
実施目的	<p>県内には、594 箇所のため池が存在しており、その多くは明治時代以前に築造された施設です。</p> <p>昭和 50 年代から、国庫補助事業を活用し、施設の老朽化が著しいため池から随時改修を進めていますが、国庫補助で実施できない小規模ため池を中心に、老朽化等の理由から地震や豪雨等の自然災害に対して脆弱のため池対策を要するため池が数多く存在しています。</p> <p>そのため、ため池の補強工事や改修工事を実施し、地震や豪雨等の自然災害に対する安全性を高め、下流域被害を未然に防止します。</p> <p>また、大規模地震に対する耐震性の検証が行われてこなかったことから、決壊した場合に下流域住民の生命、財産、公共施設等に甚大な被害をもたらす可能性のある大規模ため池（堤高 15 m 以上）の 9 箇所（うち 3 箇所は国直轄事業）を対象に、耐震性点検を行い、点検結果の必要性に応じて今後の整備計画を作成します。</p>		
規 模	H24事業費	35,000 千円	
	<p>【改修工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 24 年度に実施する内容 調査測量設計・・・ 2 箇所 ・平成 24～28 年度に実施する内容（全体計画） 調査測量設計・・・10 箇所 改修工事・・・10 箇所 <p>【耐震性点検】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 24 年度に実施する内容 鳴沢貯水池 ボーリング調査 大谷・牛秣 ボーリング調査 ・平成 24～27 年度に実施する内容（全体計画） 大規模ため池 6 箇所の耐震性点検の実施 （ボーリング調査、土質試験、安全率解析） 		
発注・進行状況	<p>【改修工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 24 年度委託設計は 9 月末で 2 箇所発注済。 <p>【耐震性点検】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 24 年度調査委託は 12 月までに発注完了の予定。 全体計画のうち、3 施設の調査に着手している。 		
完成時期	<p>【改修工事】 H25 年度／ 2 箇所、H26 年度／ 2 箇所、H27 年度／ 4 箇所、 H28 年度／ 2 箇所</p> <p>【耐震性点検】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年度耐震性点検完了 鳴沢貯水池、大谷池、牛秣貯水池、早川貯水池、茂沢ダム ・平成 27 年度耐震性点検完了 寺沢貯水池 		
効果等	<p>【改修工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ため池 2 箇所について、平成 24 年度に調査測量設計を実施し、H25 年度に改修工事することで、大地震や豪雨等の自然災害における下流域被害を未然に防止し、地域における農業生産の維持や県民の生命・財産の安全を図ります。 <p>平成 25 年度以降も残りの 8 箇所のため池について、調査測量設計及び改修工事を順次進めて行く予定です。</p> <p>【耐震性点検】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模ため池（堤高 15 m 以上）の耐震性点検を行うことにより施設の安全性を確保します。 ・点検の結果耐震性が不足するため池は、整備計画を策定し、早期に対策工事を実施し、大規模地震発生による災害を未然に防止します。 		
担当所属	農村整備課	連絡先	027-226-3161
関連HP	http://www.pref.gunma.jp/cate_list/ct00001934.html		

